

## 奄美大島及び徳之島の保護林について

名 称	かみや 神屋林木遺伝資源保存林	みきょう 三京岳林木遺伝資源保存林	おもなわ 面縄林木遺伝資源保存林
目 的	イジュ、スダジイ及びイスノキの林木遺伝資源を保存し、学術研究等に資する。	オキナワウラジログシ、イスノキ、スダジイの林木遺伝資源を保存し、学術研究等に資する。	リュウキュウマツの林木遺伝資源を保存し、学術研究等に資する。
設定年月	平成5年3月	平成5年3月	平成5年3月
面 積	160.96ha	98.83ha	5.28ha
位 置	住用村 神屋国有林211、212、213林班の一部	天城町 三京岳国有林243林班の一部	伊仙町 面縄国有林253の一部
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奄美大島本島中央部のヤクガチョボシ(441m)の北東の急斜面から住用川の上流に位置し、亜熱帯性天然広葉樹林。</li> <li>・林相は、イジュ、スダジイ及びイスノキを主とした貴重な亜熱帯性の照葉樹林。幻の花と言われている奄美の固有種であるアマミセイシカの自生地でもある。</li> <li>・アマミノクロウサギ、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、アマミヤマシギ、ルリカケス等の希少種をはじめ、多種多様な動物種の生息地。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天城町に所在し、徳之島のほぼ中央部にある丹発山(446m)の南西中斜面に位置。</li> <li>・林相は、オキナワウラジログシ、イスノキ、スダジイ等の天然広葉樹林。オキナワウラジログシには顕著な板根が見られるものがあるが、老木が多く板根の一部が腐れ始めているものもある。</li> <li>・戦後、建築材として利用できる立木は択伐を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳之島南部の標高約100m前後の隆起珊瑚礁地帯の丘陵に位置し、水源かん養林としても重要な機能を発揮。</li> <li>・林相は、リュウキュウマツの高齢級大径木を主体とし、スダジイ等の広葉樹が混生する天然性針広混交林。これら広葉樹はリュウキュウマツの下層木を形成。</li> </ul>